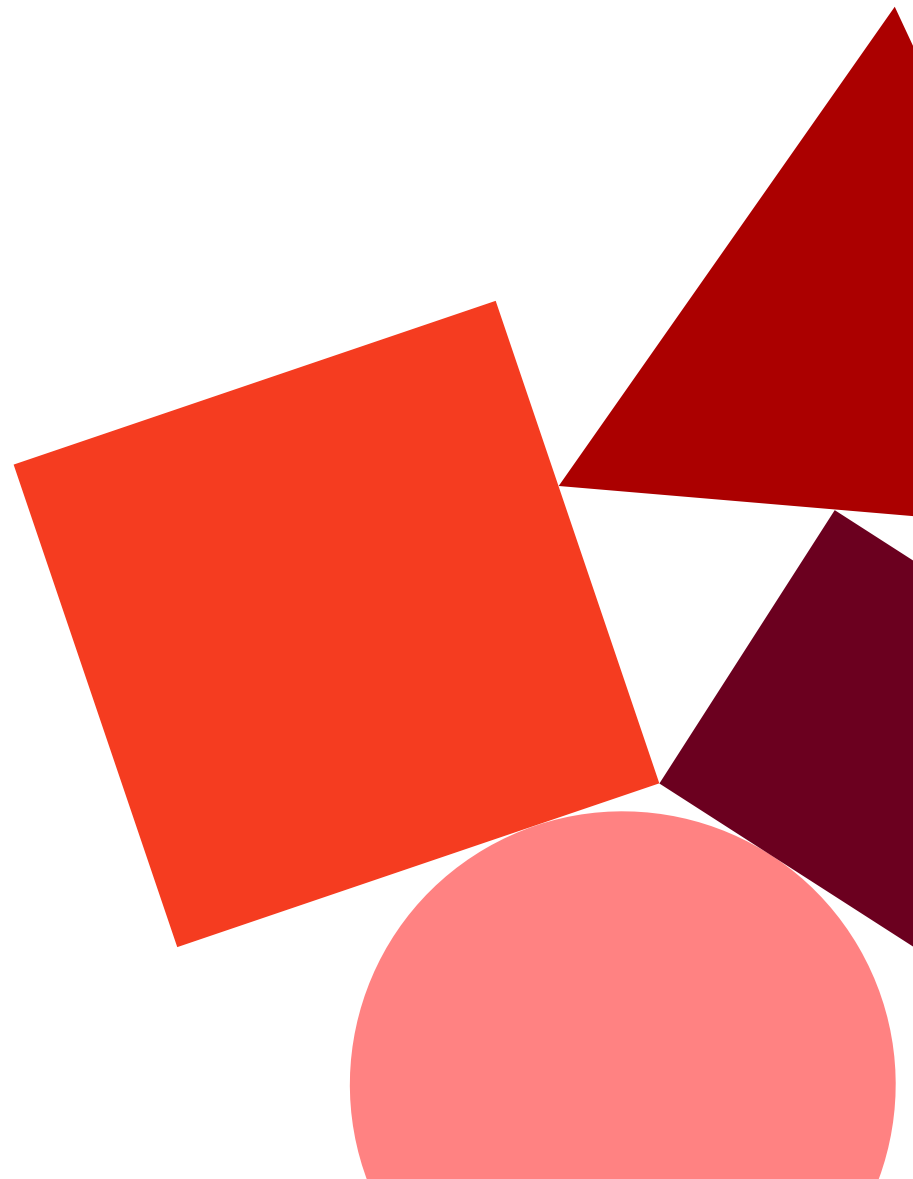


テストフェーズの 進め方



本資料の目的

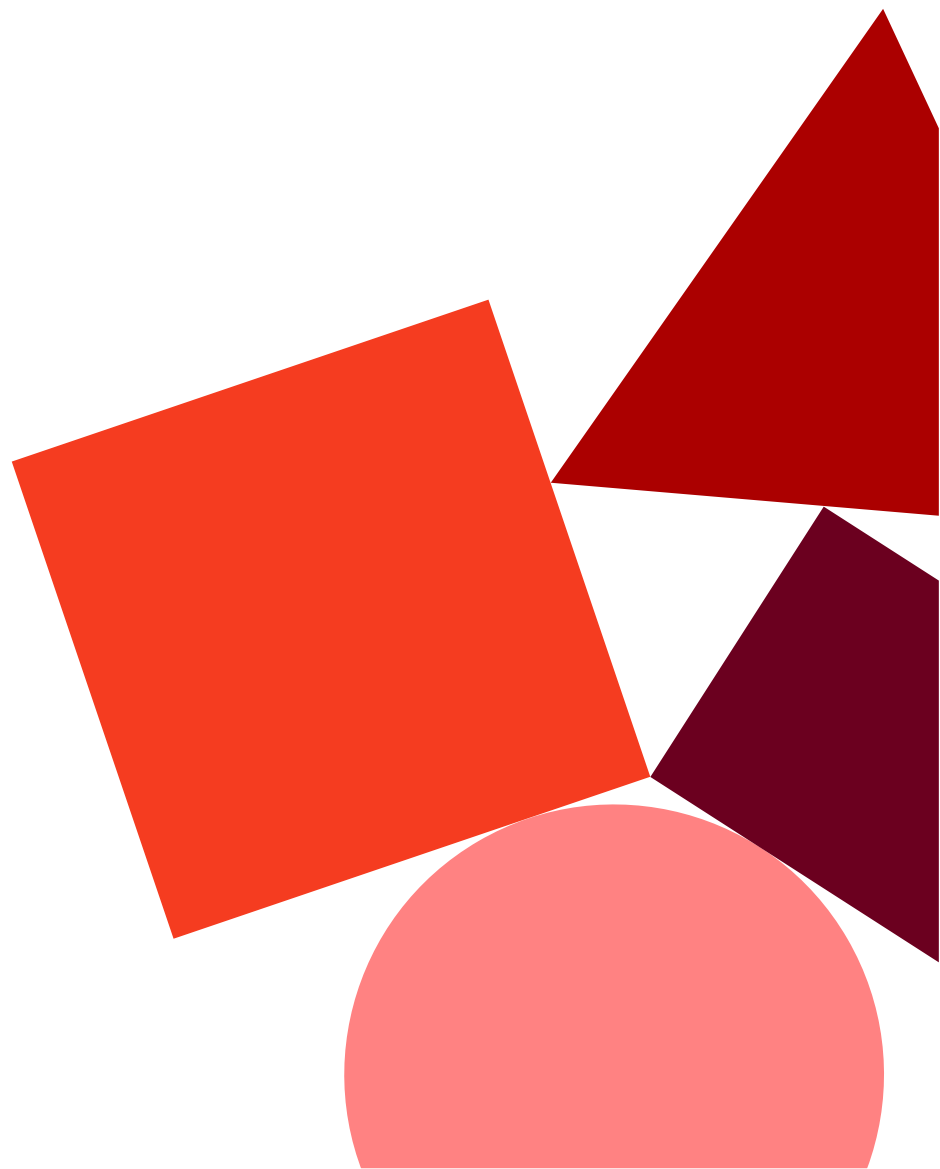


本資料はお客様向けの資料になります。
本資料の目的は、以下の2点です。

1. テストフェーズにおける、テストの目的、進め方の概要を理解していただく
2. テストを実施しやすくなるようサポートする

1. テストの目的

2. テストの進め方



テストの目的

ずばり、テストの目的は

本番運用開始前に
できるだけ多くの不具合を発見し、解消することです！

テストをせず不具合が見つからないと・・・

「適切なテストが行われなかったために、
思わぬ不具合が本番で発生！トラブル対応に疲弊・・・」

「システムは完成したけれど、なんとなく使いづらい」

たくさんの不具合を発見できると

「想定通り動いて、トラブル対応もなくて楽！」

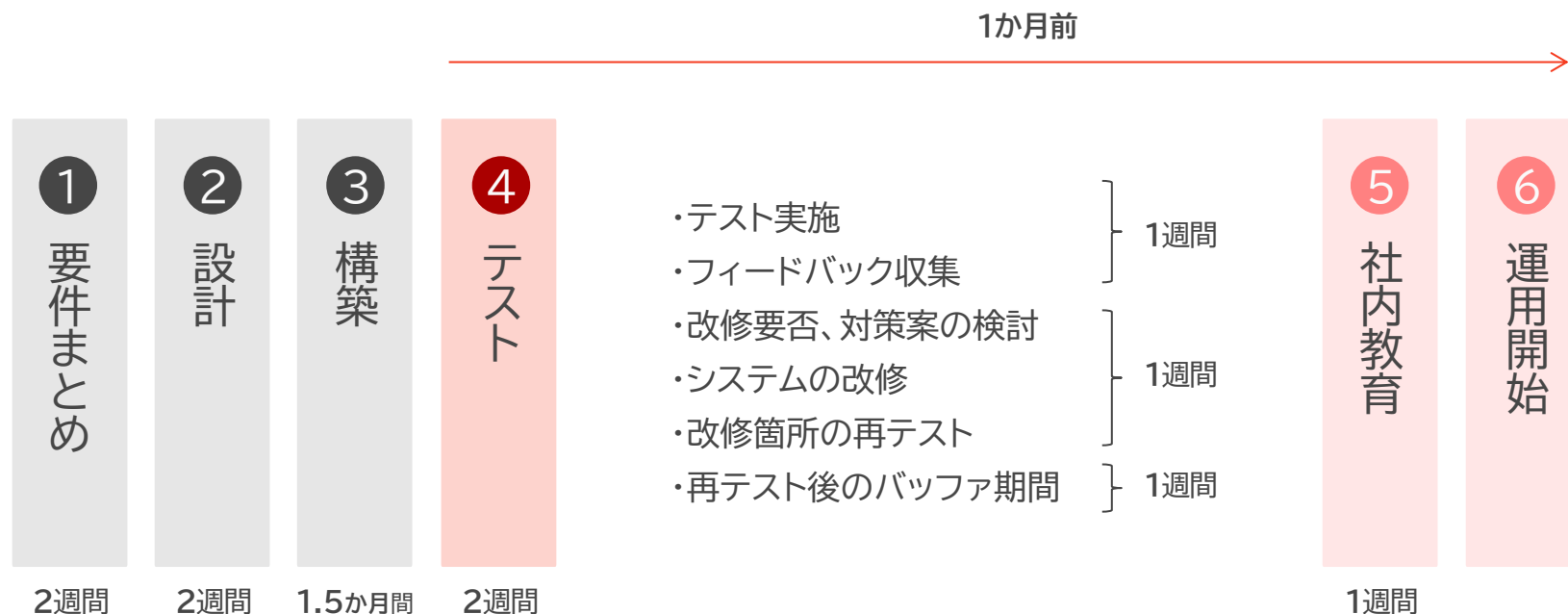
「実際のユーザの声が反映されていて、使いやすい！」

テストの進め方

1. テストにかかる時間を再確認しましょう
2. テストを実施してもらう人を決定し、依頼しましょう
3. テストする範囲と操作を確認しましょう
4. テストデータを準備しましょう
5. テスト担当者にテストを実施してもらいましょう
6. フィードバックを収集しましょう
7. システムを改修しましょう
8. 改修部分のテストをしましょう

1. テストにかかる時間を再確認しましょう

テスト期間は、テストの実施、不具合改修、再テストなどの対応で、一般的に2～3週間かかります。
運用開始の1か月前にはテストを開始できるようにしましょう。

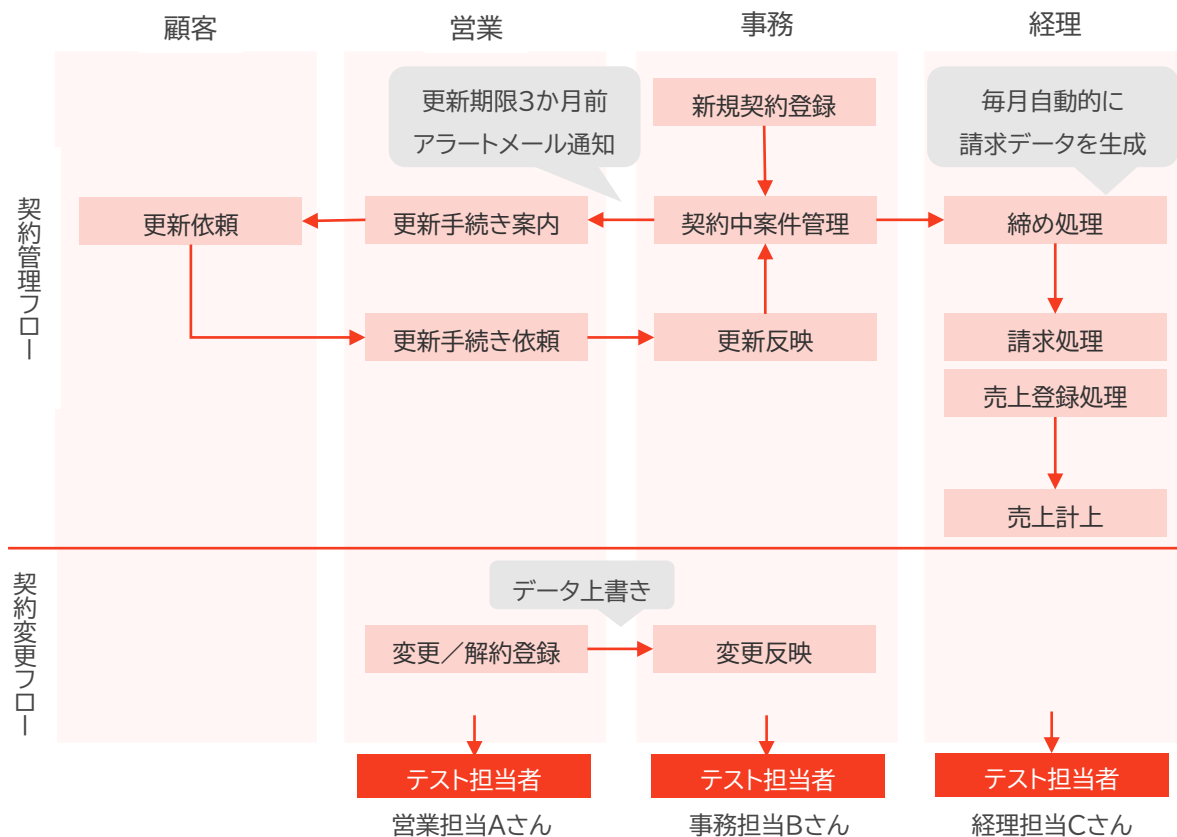


2. テストを実施してもらう人を決定し、依頼しましょう 楽楽販売

テストを実施してもらう人を決め、依頼します。

突然依頼すると「業務が忙しく対応できない…」と断られてしまう可能性もありますので、早めに調整し、時間を確保してもらうようお願いしましょう。

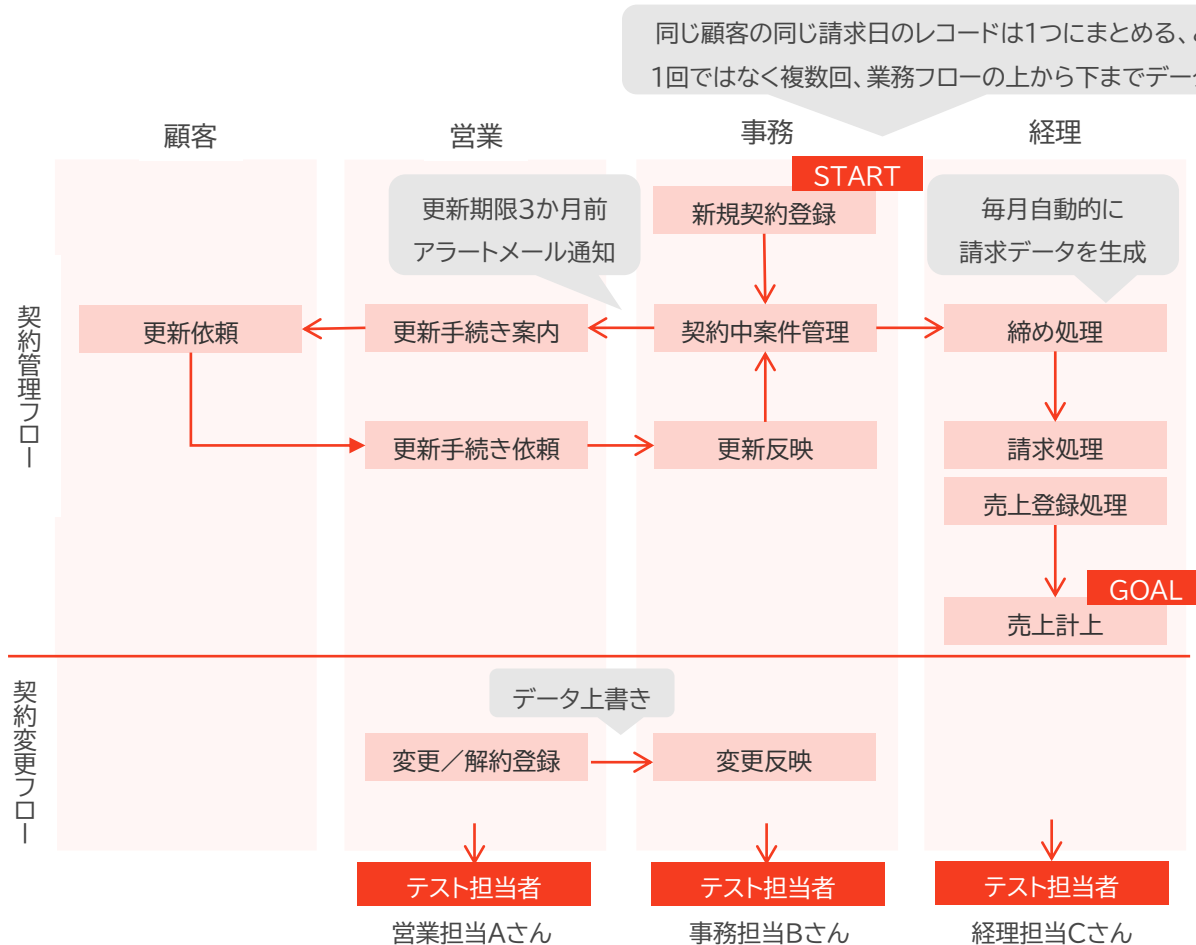
また、テスト担当者には、実際にその業務を行う方を選びましょう。



3. テストする範囲と操作を確認しましょう

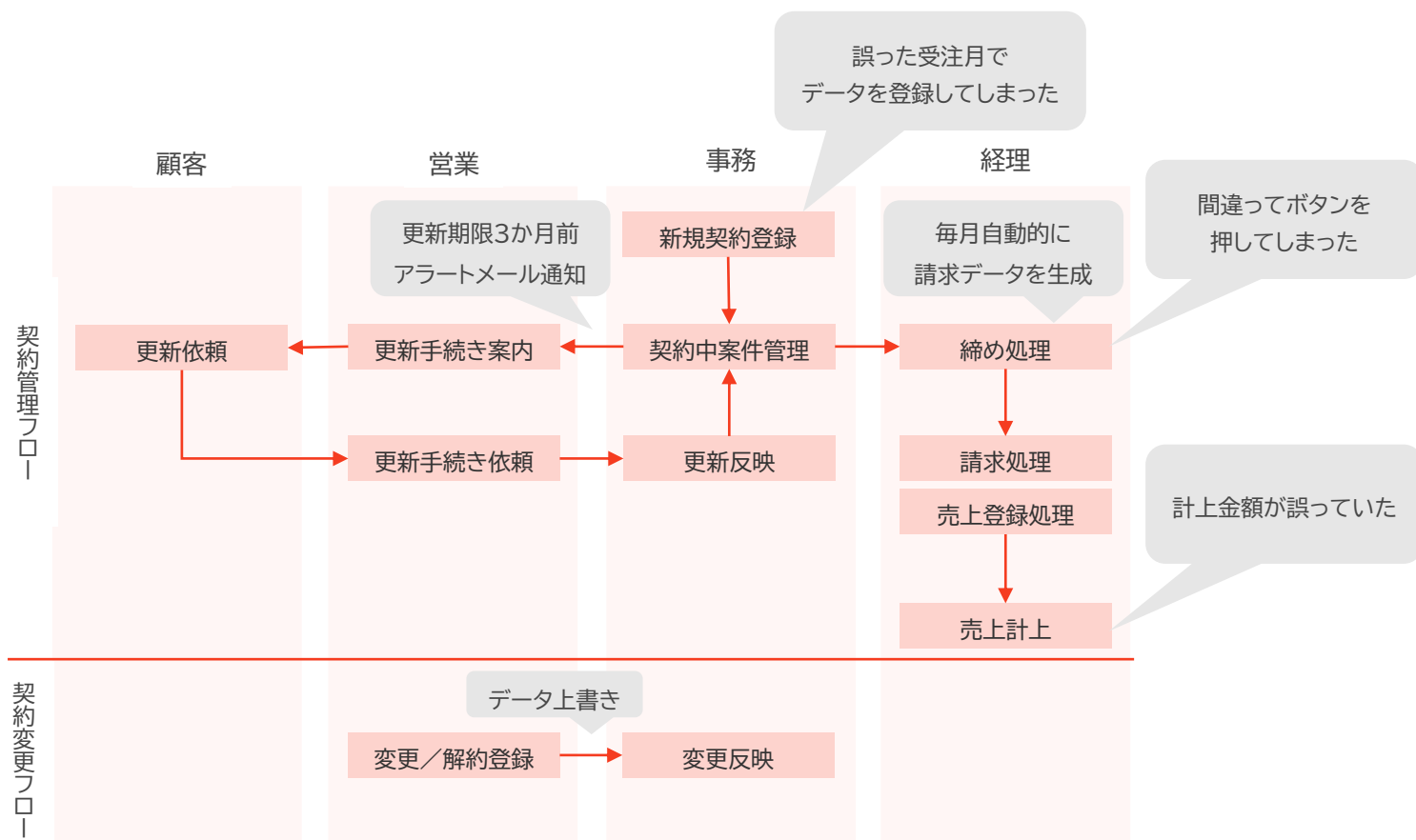
お客様の構築したシステムの中でテストする範囲を確認します。

基本的には、業務フローの上から下まで確認します。必要であれば複数回実施します。



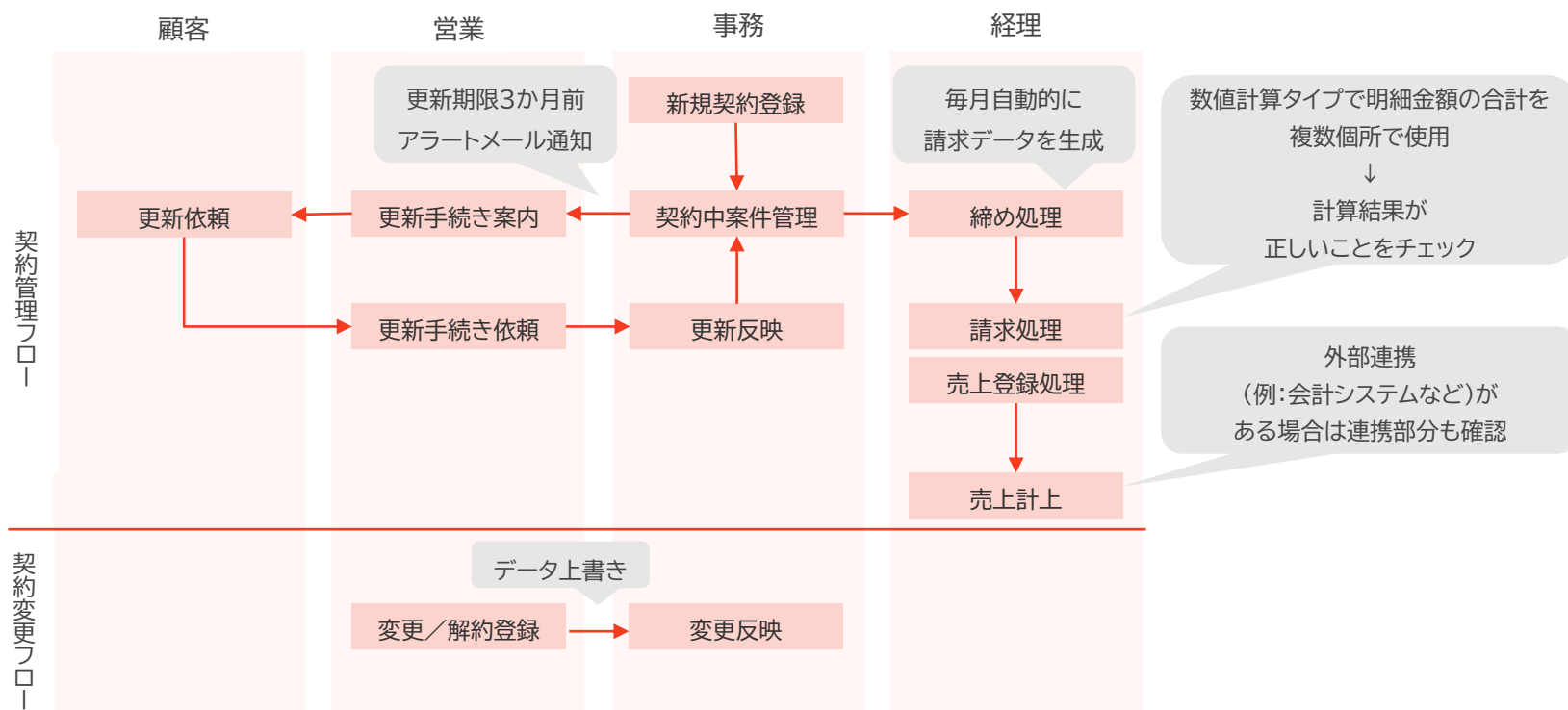
3. テストする範囲と操作を確認しましょう

ポイント①:異常系(想定外の操作)についても確認しましょう



3. テストする範囲と操作を確認しましょう

ポイント②:お客様のシステムにおいてポイントとなる箇所を確認しましょう



4.テストデータを準備しましょう

必要なテストデータを準備します。

マスタに本番データが登録されていない場合は、テストに最低限必要なデータを事前に登録しましょう。

データは、でたためのものではなく本番を想定したものをご用意くださいませ。

OK

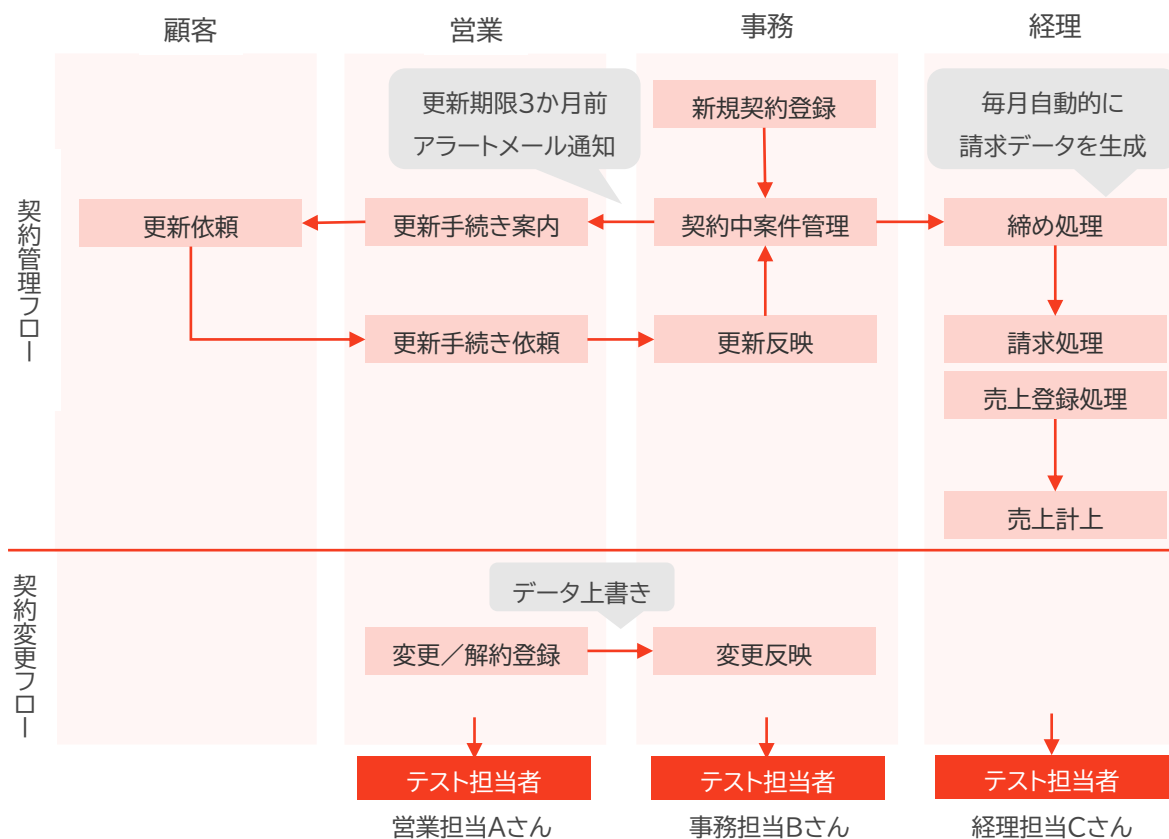
行	商品ID	区分	カテゴリ	品目	単価	数量	数量単位
	税率ID*	消費税率(%)	税率	税抜金額(小計)	消費税(小計)	税込金額(小計)	
1	<div>区分 販売品 カテゴリ プリンタ 業務用インクジェットプリン...</div> <div>取得</div>	販売品	プリンタ	業務用インクジェットプリンタ	¥ 50000	5	台
	10%(03) 取得	10%	0.1	0円	0円	0円	

NG

行	商品ID	区分	カテゴリ	品目	単価	数量	数量単位
	税率ID*	消費税率(%)	税率	税抜金額(小計)	消費税(小計)	税込金額(小計)	
1	<div>区分 ----- カテゴリ ----- ----- 取得</div>	ですと	テスト	ああああああああああ	¥ 50000	5	台
	10%(03) 取得	10%	0.1	0円	0円	0円	

5.テスト担当者にテストを実施してもらいましょう

依頼していたテスト担当者の方に、テストを実施してもらいます。
前段で整理した範囲、操作、データの内容について説明しましょう。



6. フィードバックを収集しましょう

テストを実施して出てきた要望や不具合をテスト担当者から収集し、対応要否を決めます。

対応するものについては、原因究明および対策の検討を実施しましょう。

エラーが出た部分は、操作した人に対象のレコードと操作手順も確認しておきましょう。

No.	種別	テスト担当者	内容	対象箇所	対応要否	対応時期	サポート相談	対応内容
1	不具合	Aさん	自動処理を実行したらエラーが出た	DB名:見積DB メニュー名:見積登録 自動処理名:見積書発行 レコードID:9	○			原因を特定して修正
2	不具合	Aさん	自動処理を実行したら、作成されたレコードの請求額が、本来受注金額の半分の額であるべきだがそうになっていない	DB名:請求DB メニュー名:請求処理	○			原因を特定して修正
3	不具合	Bさん	メニューが表示されていない	DB名:見積DB	○			アクセス権設定の誤り
4	要望	Aさん	入力に間違いが起こりやすい	DB名:受注DB メニュー名:受注登録	×			現時点では、現在の設定以上の対応策なし
5	要望	Bさん	前のシステムではボタンを1回押したら済むが、画面の切り替えやボタン押す回数が増える	DB名:受注DB メニュー名:受注申請	×			仕様上対応不可のため運用でカバー
6	要望	Bさん	入力画面が使いづらい	DB名:案件進捗管理DB メニュー名:案件登録	○	次フェーズ	✓	考慮漏れのため改修案を検討し対応

7.システムを改修しましょう

改修が必要なものについては、実際に設定を変更します。

改修前に、変更箇所にかかる作業ボリュームを見積もり、改めてシステムを改修するか確認しましょう。

もし作業ボリュームが大きすぎる場合は、運用でカバーする方法も検討いただくことをおすすめいたします。

No.	種別	内容	対象箇所	対応 要否	対応内容	設定変更内容	作業時間 見積もり
1	不具合	自動処理を実行したらエラーが出た	DB名:見積DB メニュー名:見積登録 自動処理名:見積書発行 レコードID:9	○	原因を特定して修正	・自動処理のパーツ設定変更	1日
2	不具合	自動処理を実行したら、作成されたレコードの請求額が、本来受注金額の半分の額であるべきだがそうっていない	DB名:請求DB メニュー名:請求処理	○	原因を特定して修正	・問題となっている自動処理の特定 ・パーツ設定変更	2～3日
3	不具合	メニューが表示されていない	DB名:見積DB	○	アクセス権設定の誤り	・アクセス権整理、設定変更	1日
7	要望	処理に関係のないレコードが表示されていて処理対象のレコードが分かりにくい	DB名:請求DB メニュー名:入金確認	○	絞込を作成し メニューを分ける	・絞込作成(●個) ・メニュー作成(●個)	2～3日
8	要望	メニューがありすぎて導線がわかりにくい	DB名:請求DB	○	メニュー名に閲覧用や処理用等の用途を明記し 対応	・メニュー設定変更(●個)	1日

8.改修部分のテストをしましょう

改修した部分についても忘れずにテストを実施しましょう。

もしテストフェーズで迷ってしまったり、ご不明点、お困りごとがございましたら、お気軽にサポート担当までご相談くださいませ！

【ポイント】

- ・改修前にテンプレート出力しバックアップを取っておきましょう
→改修していたら他の部分までうまく動かなくなってしまった・・・ということもあり得ます。
万が一に備え、改修前に管理者設定＞メンテナンス設定＞テンプレート出力から
テンプレートの出力をしていただくようお願いいたします。
- ・お問い合わせはこちらまで！
お問い合わせフォーム ： <https://success-navi.rakurakuhanbai.jp/contact>

参考資料:改修リスト例

No.	種別	テスト担当者	内容	対象箇所	対応要否	対応時期	サポート相談	対応内容
1	不具合	Aさん	自動処理を実行したらエラーが出た	DB名:見積DB メニュー名:見積登録 自動処理名:見積書発行 レコードID:9	○			原因を特定して修正
2	不具合	Aさん	自動処理を実行したら、作成されたレコードの請求額が、本来受注金額の半分の額であるべきだがそうっていない	DB名:請求DB メニュー名:請求処理	○			原因を特定して修正
3	不具合	Bさん	メニューが表示されていない	DB名:見積DB	○			アクセス権設定の誤り
4	要望	Aさん	入力に間違いが起こりやすい	DB名:受注DB メニュー名:受注登録	×			現時点では、現在の設定以上の対応策なし
5	要望	Bさん	前のシステムではボタンを1回押したら済むが、画面の切り替えやボタン押す回数が増える	DB名:受注DB メニュー名:受注申請	×			仕様上対応不可のため運用でカバー
6	要望	Bさん	入力画面が使いづらい	DB名:案件進捗管理DB メニュー名:案件登録	○	次フェーズ	✓	考慮漏れのため改修案を検討し対応